☆緑☆陰☆の☆幕☆間☆か☆ら☆

鳩山郁子

from April to May

今日のラジオラの特報さ

パシェバレエ団？

なんだ興味ないな

本当に？

連中バカンスを兼ねてるんださっきすごい車に乗ってたぞ

ラジエタ・キャップは何型？

ええと……羽型だったかな

ごく一般的な型(ヤツ)だね

でもさ、どうして車や自転車には風切りがついているのかな

必要ってわけでもないだろう？

あれは単なる飾りとステイタスだからね

けれど、風切りには人の精神を前へ前へと牽引する力があると思うな

風切りがなければ目的地に着いても、それはまだ出発点にいることと同じってことさ

あのひとはすぐに自分で〝法則〟ってのをつくっちゃうからな

おはよう！
こちらは我が街のラジオ局ラジオラ・デフテーラより―

まずは
パシェバレエ団
特別公演のご案内
我々は全く幸運、
都市に於ては
そのチケットさえ
入手困難とされ
――

ハイ
タトー

ハイ

どうしたのさ
こんなところで

バレエ団の車が
ホテルに着いたんだ
ラジオラでいってたただろ

HOTEL KAMIROS

248

2464

すごい！
六人乗りだぜ

羽も、前と
後輪に
三つもついてる

羽がついているのは
いいけれど

その下にある
金網の空洞には
何があるの

まるで
金の門飾りのついた
隠れ家みたいじゃ
ない？

サー

年少君
そんなところを
のぞいたって
何も入ってないよ

あ
はい

おや
うちの坊やは
こんなところに

困った子だ
一人足りないと
思ったら

君！
明日の公演は
是非観に来て
くれたまえ

きっとだよ！

サー

あれは
幕内で聞く
拍手の音だったんだ

無線の音に
似てはいない？

野の上をゆき
風をわたりして
千人分の拍手が
届けられていたんだ

サー
サー
サー

車の中から
男の子を？

そう！だけど
様子が
おかしいんだよね

誘拐とまでは
云わなくても

例えば拾われたとか……自分から彼等の仲間に入ったのかもしれないし

まさか！

考えてみろよささいなキッカケで人の心向きなんか変わるもんだぜ

例えばさあの子が寄宿生で父親が迎えに来るのを待っている

多分その父親は、電車か何かを乗り継いでやってくるんだろうな

そんな時目の前にあの巨大な金の羽が横付けされるんだ

確固たる方角を指し示してね

どうだい、お前なら抗えるかい？

ニヤッ

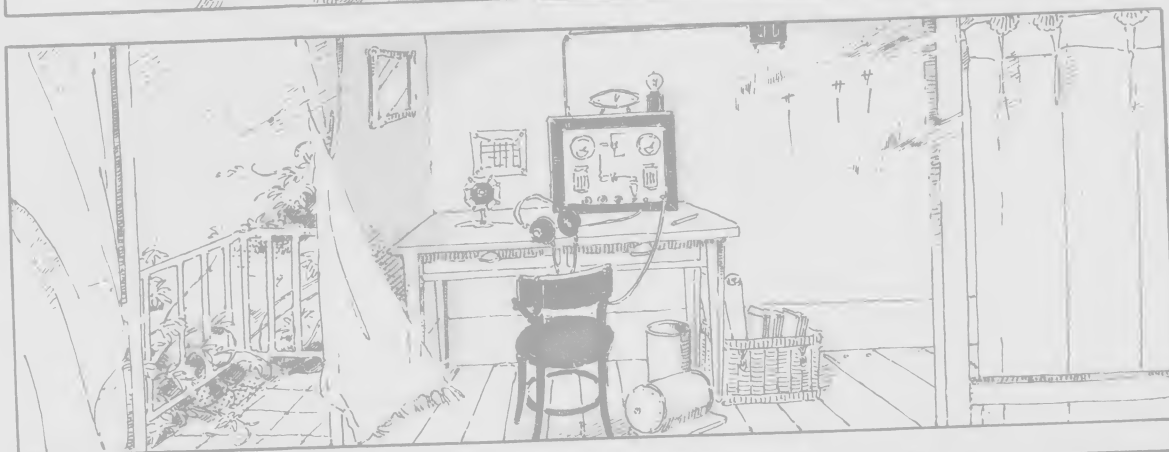
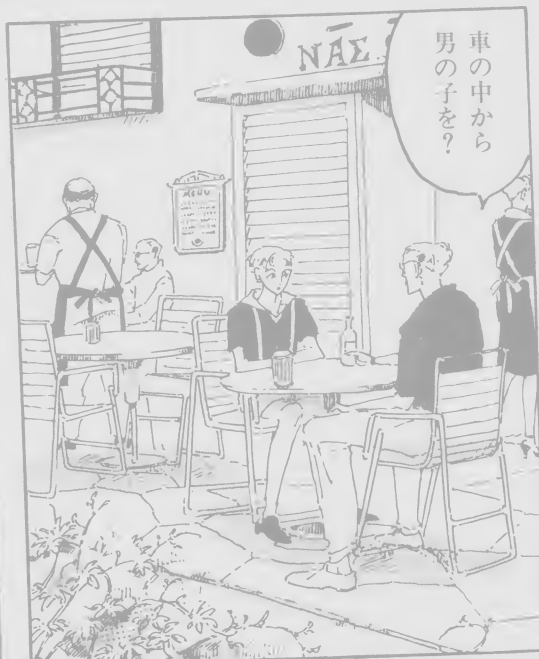
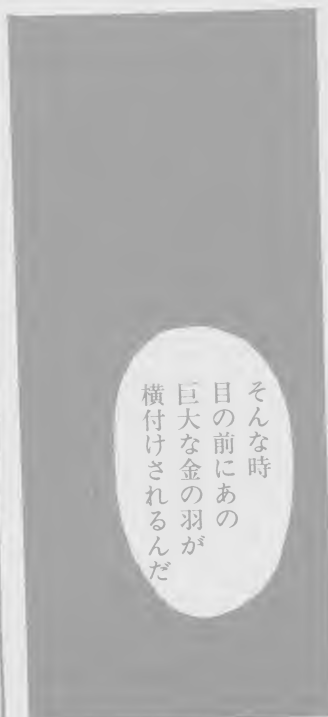
金の羽

もしかして
バレエ団 全体が
あの羽に方向付けられ
導かれているのかも
しれない

その上 僕は

あの
暗い深淵の底に
呑み込まれそうに
なったんだ！

パチパチ
パチ
パチ
パチ
バチ

暗転のない舞台
なのに少しずつ
変化し始める

まばたきの様な
明滅のたびごとに

舞台も
劇場も
新しく造られて
再現されているんじゃ
ないかしら

やっぱりあの時
手品の鳩のごとく
車の中から
出現させられたのではと
思ってしまう

最後の一礼が
終ったあとも
彼の運動だけが
集約されずに
舞台のあちこちに
点在していた

消えずに残っていた

パチン

それぞれの〃彼〃が
静止してそこに居るなら

上がらない
幕の内側にも
君は居たはずだ

彼は
完璧に踊り終えたと
同時に

まだ一歩も
踏み出していない
幕内の踊り手でも
あったんだ

あれ
どこかて知ってるな
この法則

正常な時間の流れを
移行するための
何かの部品か欠けている

済まないが…今はちょっと忙しくてね！

……そうですか

このまま発ってしまうんだな

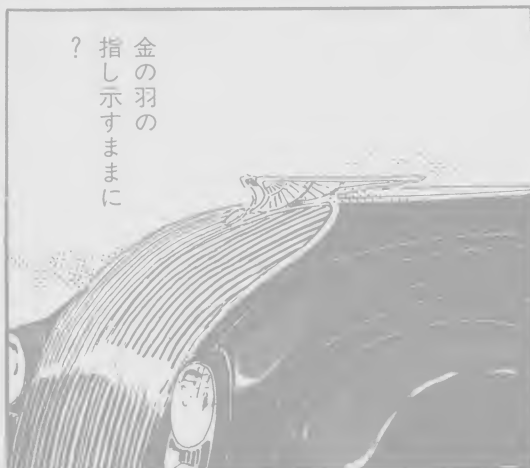
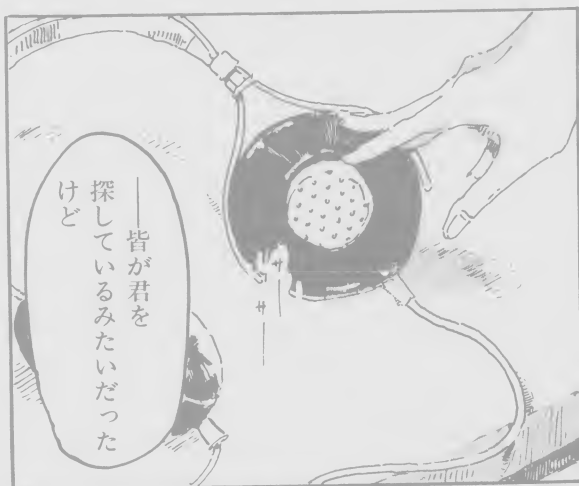
金の羽の指し示すままに？

君

——皆が君を探しているみたいだったけど

サー

サ

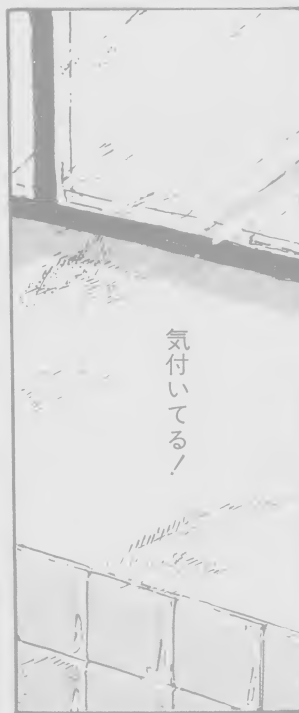
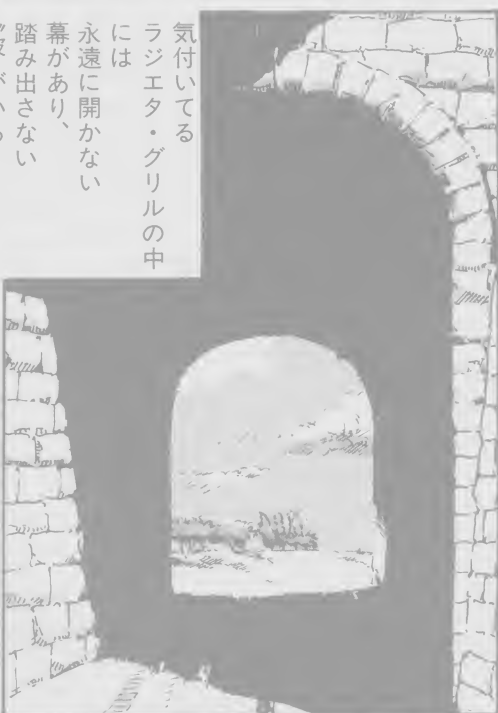
——どうしてこんなところへ？

ラジオ局があるって
聞いたからさ
立ち寄っただけ
だよ

サー
サー

――この音か

僕、
この音知ってる
いつも聞いてるんだ

気付いてる！

気付いてる
ラジエタ・グリルの中
には
永遠に開かない
幕があり、
踏み出さない
〝彼〟がいる

きっかけは
ないだろうか

彼が
一歩を踏み出せるための
何かのきっかけ

君の自転車で
送ってくれないかな

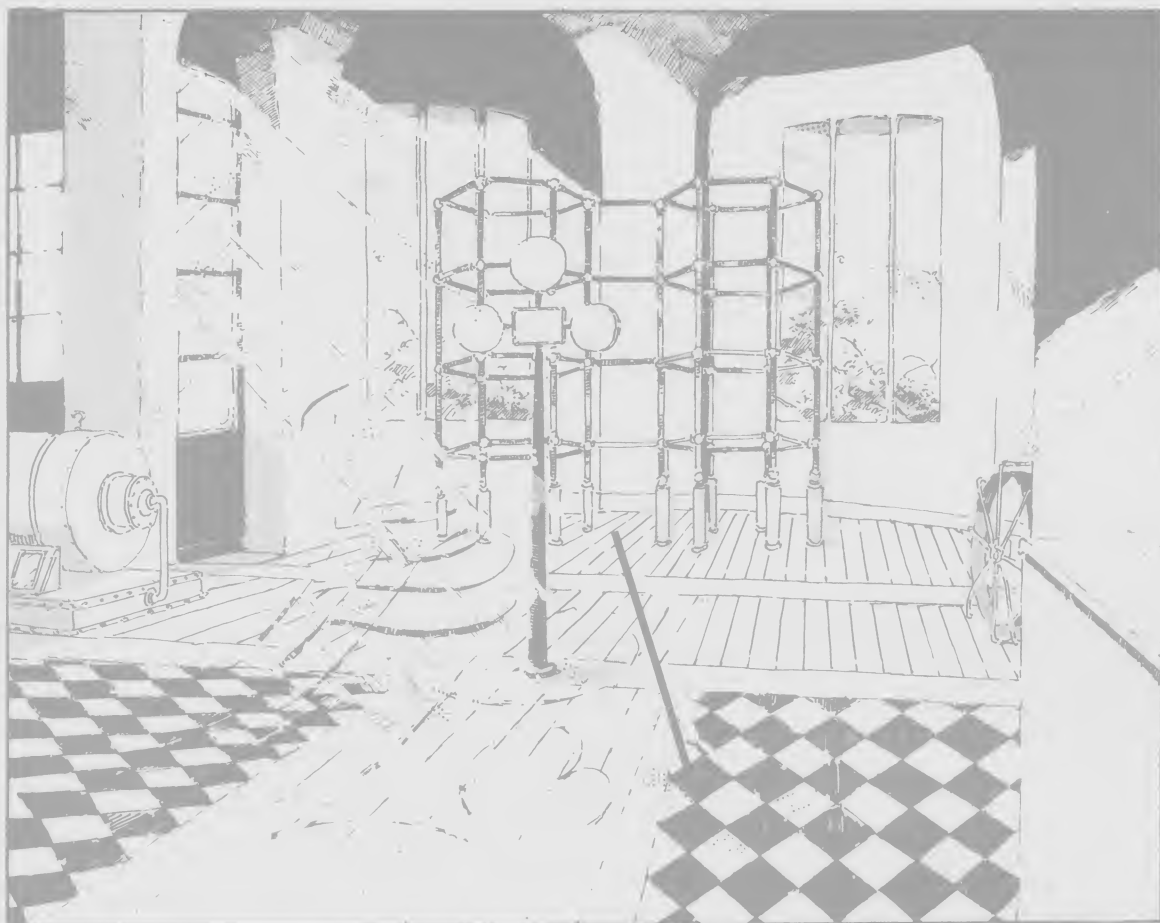
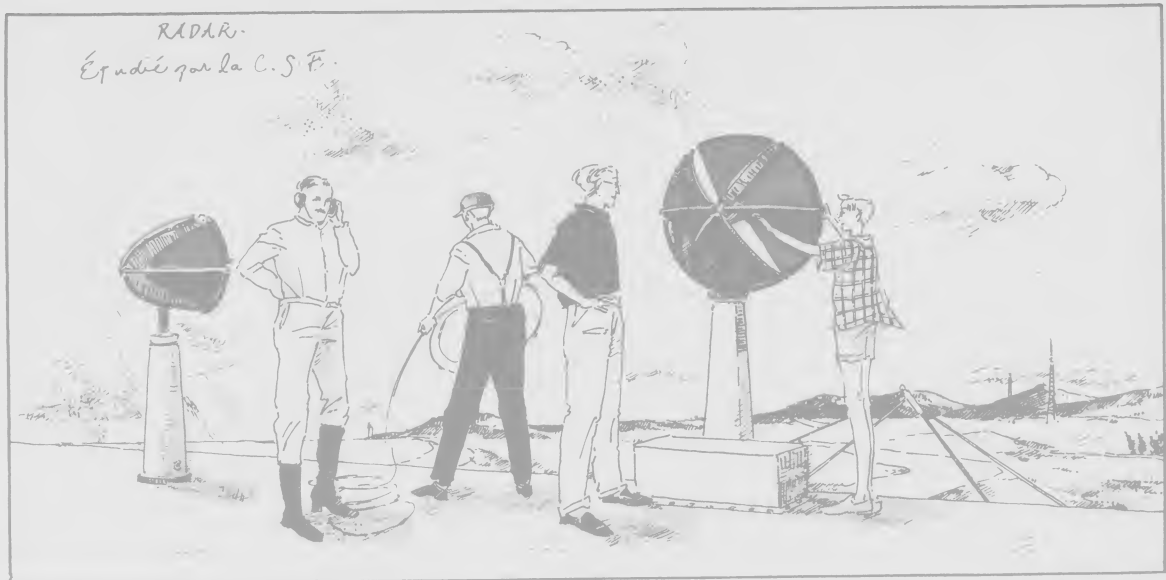
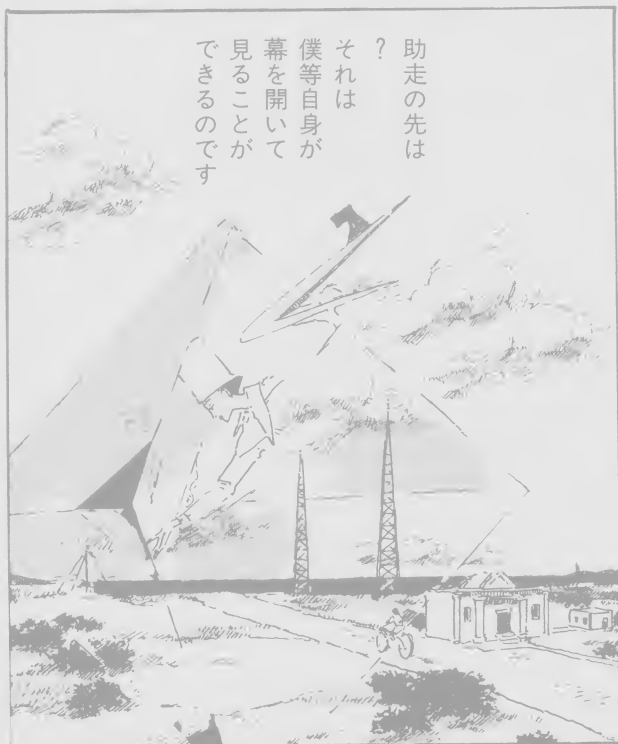
勿論 僕が
前に乗って漕ぐよ

五月

僕は風切りを失くした

RADAR.
Étudié par la C.S.F.

今頃は
彼の踝に付いているか
それともボタンホール
の飾り章になったたか

どちらにしても
その羽は
仮綴じのものでしか
なく

けれど、僕等は
確かに
助走を駆けたのです

助走の先は
？
それは
僕等自身が
幕を開いて
見ることが
できるのです

3/28 ☆ End ☆